

東日本大震災の経験を踏まえた講演

災 害 医 療 研 修

入場無料  
事前申込

2019年

6月5日(水)

18:00~19:30

講師

菅野 武 先生

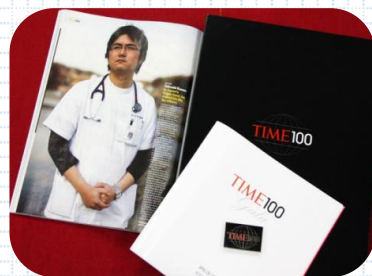
マクマスター大学 消化器内科 特別研究員  
東北大学 消化器内科 非常勤講師  
高知県災害医療アドバイザー

講演

# 災害時受援体制の実際と課題

## 被災した医療者として

2011年3月11日、菅野医師は宮城県南三陸町の公立志津川病院で勤務中に東日本大震災に被災しました。津波は病院4階まで押し寄せ、町の中心部は破壊されました。その後三日間救助ヘリに全員が救出されるまで、菅野医師は生き残った患者や避難者に寄り添い支えながら、救命活動を続けました。この活動から、菅野医師は米タイム誌の「世界で最も影響力のある100人(2011)」の一人に選ばれています。被災の実際とそれからについてお話いただき、皆さん自身が災害の中でどう生き抜くか、また生き延びた人が何を思うのかを一緒に考えていただきたいと思います。



[著書]  
寄り添い支える  
公立志津川病院  
若き内科医の3・11  
(河北新報出版センター)

会場

高知大学医学部 臨床講義棟 2階 第3講義室

申込  
締切

5月20日(月)

※別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください

主催

高知大学医師会  
高知県(健康政策部 医事薬務課) TEL 088-823-9667  
高知大学医学部 災害・救急医療学 TEL 088-880-2286 (担当: 楠瀬)